

自治体による事例紹介① (長寿命化改修)



令和7年11月
寄居町教育委員会

目次

01 自己紹介

- ・寄居町の概要
- ・男衾中学校の概要

02 長寿命化改修工事について

- ・事業実施の経緯
- ・工事内容(長寿命化改修工事、内部改修工事)

03 課題と対応

- ・組織体制
- ・居ながら工事の実施
- ・財源の確保

町の概要

寄居町は、埼玉県の北西部、都心から70km圏に位置しております。

面積は、64.25平方キロメートル。

昭和30年2月に当時の寄居町、折原村、鉢形村、用土村、男衾村が合併し、今の「寄居町」が誕生。

令和7年2月11日に合併70周年を迎えた。

学校数は、小学校6校、中学校3校で合計9校。

児童数は1,201人。生徒数は648人。



樹齢150年のミツバチノ「氏邦桜」



風布・小林みかん狩り

人口 | 31,429人 (R7.10.1 現在)

面積 | 64.25平方km

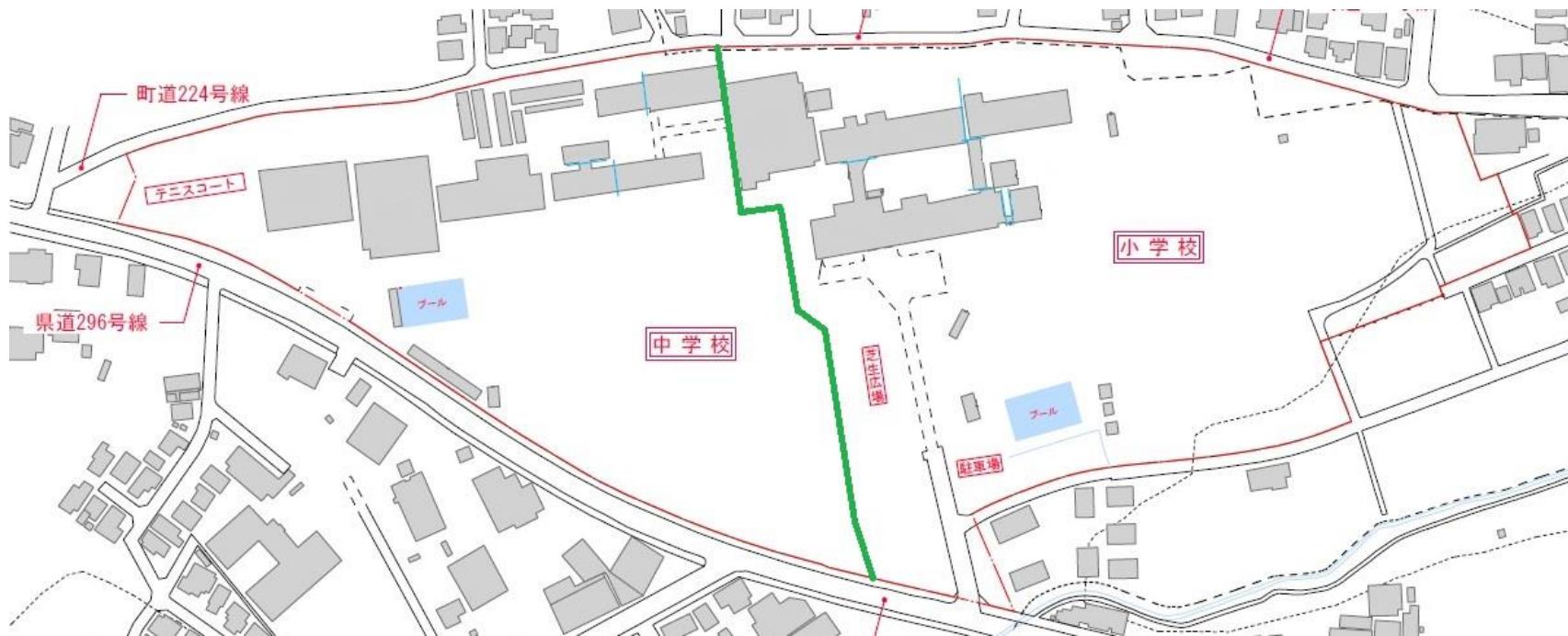
予算 | 141億11,879千円
(R7 一般会計 当初予算)

学校数 | 9校

男衾中学校の概要

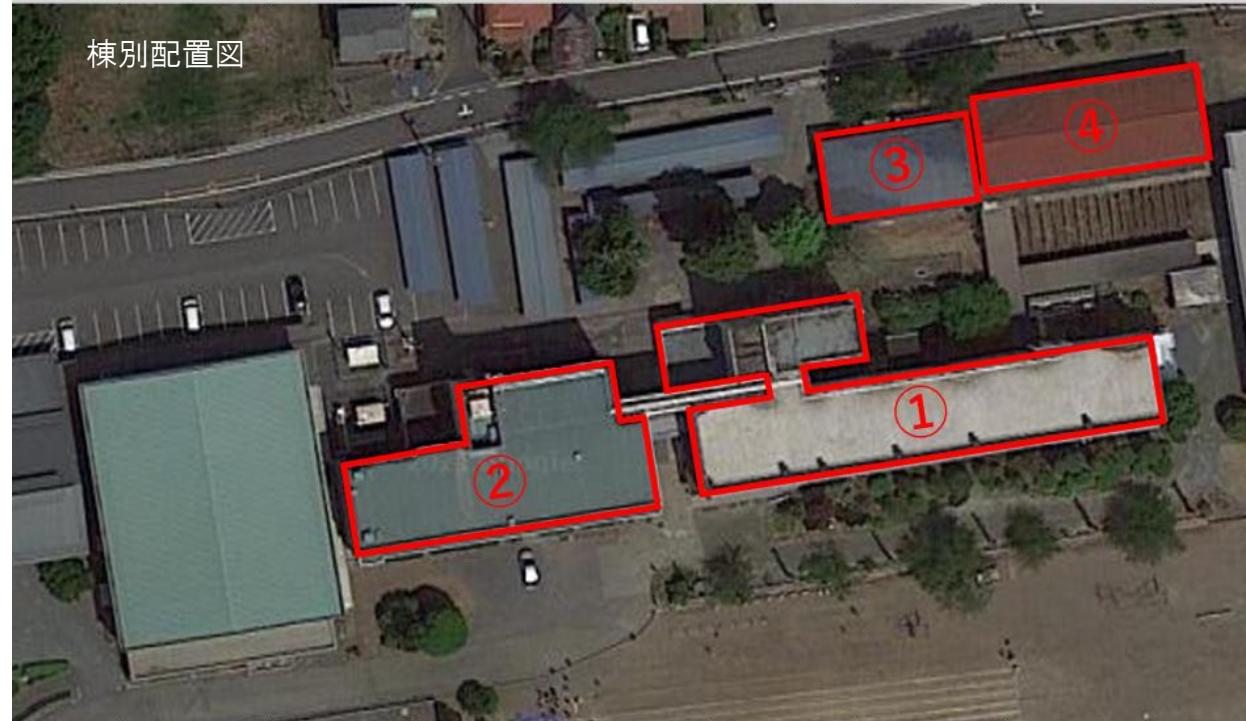


名 称 寄居町立男衾（おぶすま）中学校
開 校 昭和22年
所在地 寄居町大字富田65番地
敷地面積 23,070平方メートル
生徒数 198人
その他 隣接地に男衾小学校が設置



男衾中学校の概要

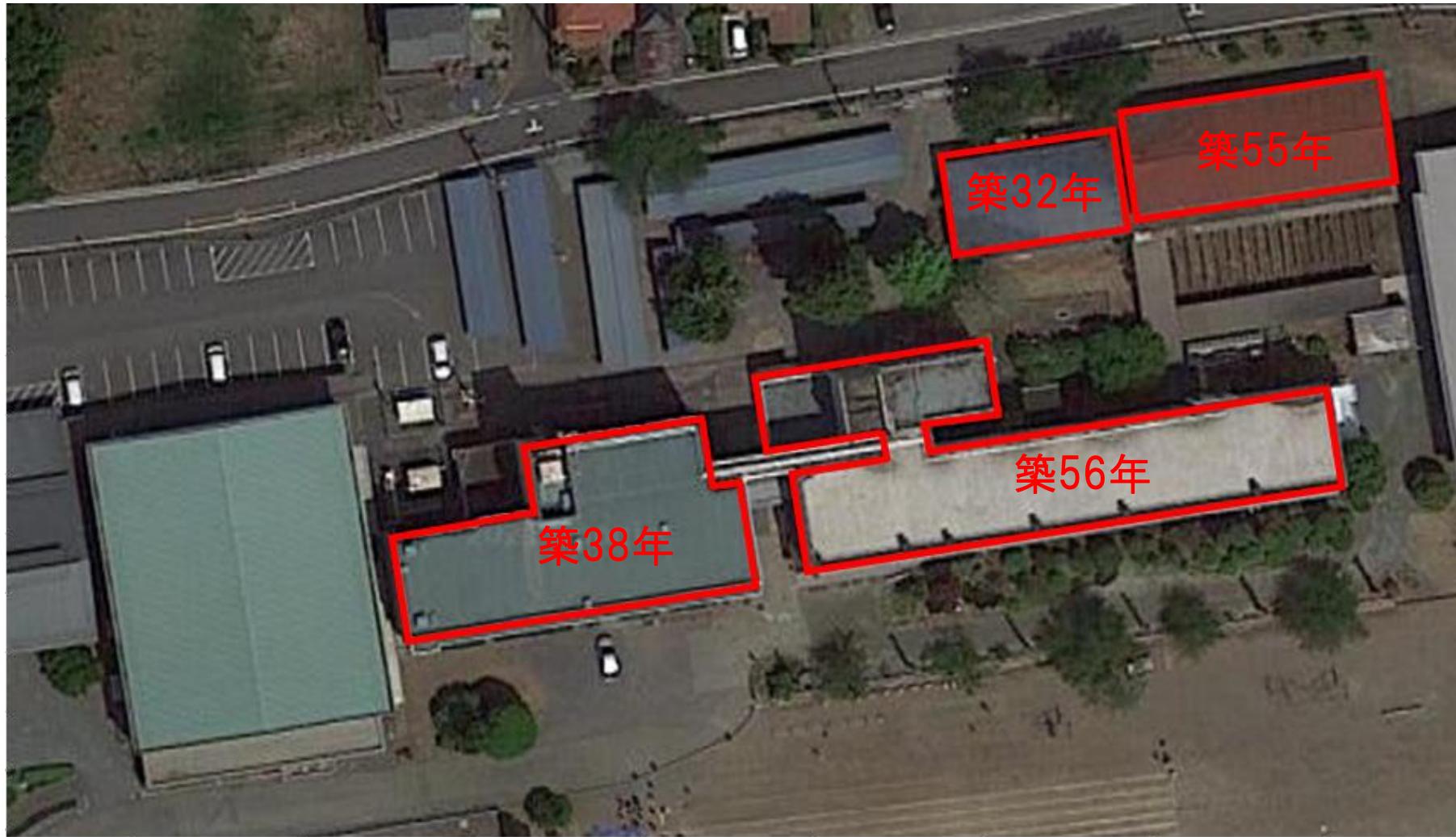
● 校舎の概要



	棟番号	建築年月	構造	階数	延床面積
東校舎	①	S42.4	RC	3	1,986
西校舎	②	S60.2	RC	3	1,512
プレハブ校舎	③	H3.3	S	1	148
木工金工校舎	④	S43.3	S	1	242

男衾中学校の概要

● 校舎の概要



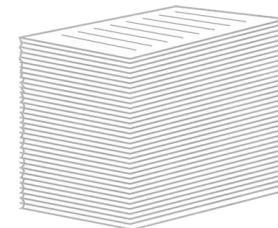
年数は、令和5年時点の築年数

長寿命化改修実施の経緯

01

地域住民からの要望

男衾中学校校舎新築実現に関する請願（5,823名署名）が
町議会へ提出



02

建替えに向けた検討開始

男衾中学校建設準備検討委員会から、校舎建替えに関する
提言書が報告

- ・小中一貫教育の推進
- ・小中施設一体型校舎の整備
- ・適切なグラウンド面積の確保
- ・地元協議会との連携



03

調査・研究

校舎建替えに向けた調査・検討（基本方針・施設規模・平面計画）
概算事業時の算出（建替え（小中一体型校舎）、大規模改修



小中一体型校舎建設費用　概算 50 億円

04

耐力度調査の実施

現校舎の詳細な状況調査を実施。結果は国の基準となる数
値を上回ることが判明（校舎の健全性を確認）

「建替え」から「長寿命化改修」へ



長寿命化改修工事について

● 工事概要

名 称 男衾中学校長寿命化改修工事

履行期間 令和5年6月30日から令和6年12月25日

請負金額 1,164,790,000円

工事内容 建築面積1,370.89m² 延床面積3,648.19m²

長寿命化改修工事、内部改修工事、レイアウト改修工事
建具改修工事、電気設備工事、機械設備工事 ほか





工事内容

01 長寿命化改修工事

コンクリート中性化対策 (表面被覆工法『リハビリ被覆工法』)

表面被覆工法は、コンクリート表面に、被覆材を塗布して表面を覆うことにより外部からの劣化因子の侵入を遮断する工法

中性化により劣化したコンクリート構造物の補修工法の選定は、耐力度調査結果の分析や、設計業者による現地確認等により決定

対策箇所は、構造上主要部分である、梁、柱を中心に実施



長寿命化改修工事について



工事内容

01 長寿命化改修工事

屋上防水改修

広範囲にわたり防水機能の劣化が生じているため、全面的な改修を実施

外壁改修

ひび割れ箇所の補修のほか、全面的な塗装を実施。なお、ひび割れ補修は、粉塵、騒音を発生させず安全かつ綺麗な仕上がりが可能な「ノンカットフィルム工法」を採用

インフラ設備改修（機械設備・電気設備）

機械設備（給排水等）における配管の全面的な更新のほか、照明器具のLED化等の電気設備の改修を実施



屋上防水改修



外壁改修（ノンカットフィルム工法）

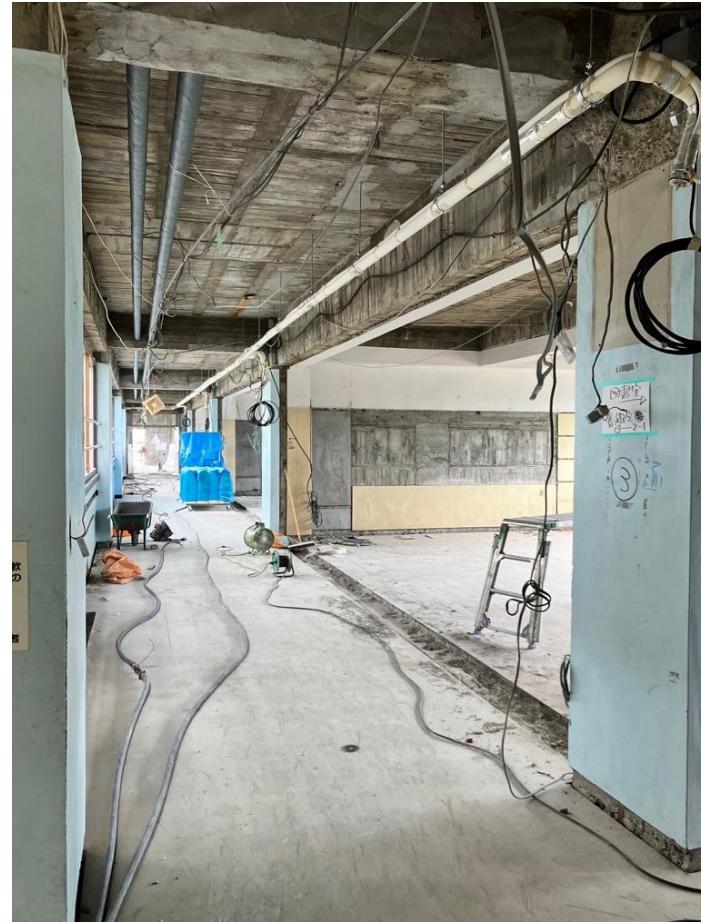
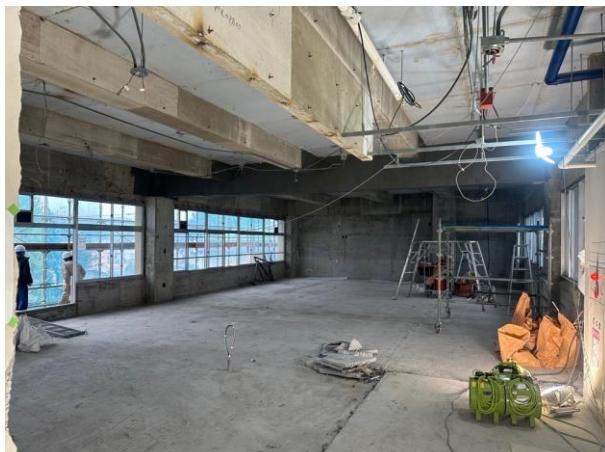
長寿命化改修工事について



工事内容

02 内部改修工事

スケルトン改修と同等の改修を実施（教室の床、フローリングブロック以外は基本撤去）



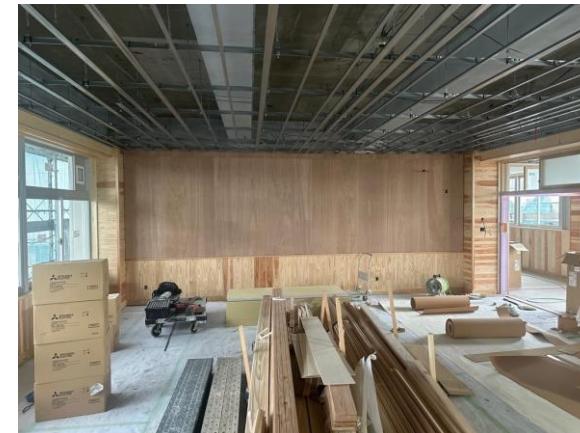


工事内容

02 内部改修工事

内装の木質化

全体的に木質化を実施。昇降口や図書室は天井に木ルーバーを設置





事業実施における 課題と対応



組織体制

担当は2名体制
(当課1名+営繕担当1名)

教育委員会には技術職員不在
町長部局の営繕担当と協力



居ながら工事

仮設校舎なし
(既存校舎を利用しながら施工)

工事中の事故防止と、騒音等による
学校運営への配慮



財源の確保

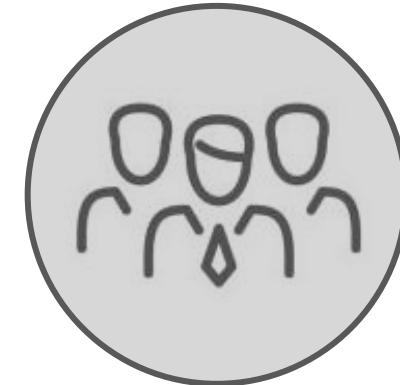
予算要求と財源の確保
(補助単価と実工事単価の乖離)

補助単価は、実工事費の約55%程度
財源の確保が大きな課題



課題と対応

01 組織体制



技術職員の不足

寄居町の技術職員（建築）数

2
名

教育委員会事務局の技術職員（建築）数

0
名

▶ 担当課 1名 + 営繕担当（技術職員）1名の 2名体制で実施



営繕担当との連携

- 役割分担の明確化



工事契約の1本化

- 各種契約事務の簡略化
- 調整窓口の集約



課題と対応

02 居ながら工事

・安全第一



・学校運営への配慮

- ▶ 交通誘導員の追加配置
- ▶ 学校との事前調整（工事期間中の特別教室の対応等）



綿密な工程調整

- ・学校行事の把握
- ・定例会議での情報共有

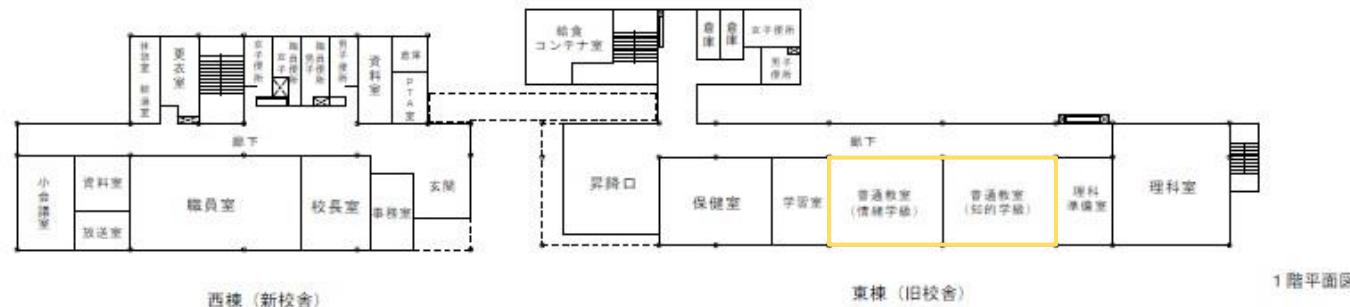
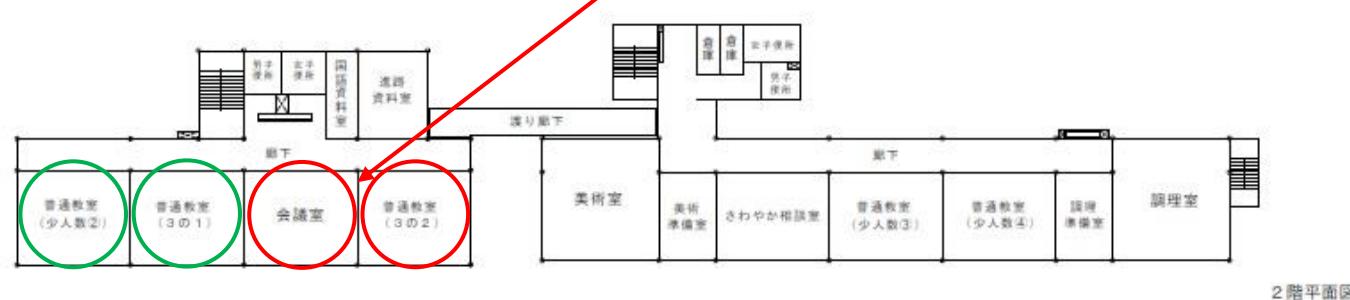


東西校舎を効果的に活用

- ・工事エリアの完全分離
- ・騒音等の軽減

長寿命化改修工事について

● 居ながら工事の実施状況



長寿命化改修工事について

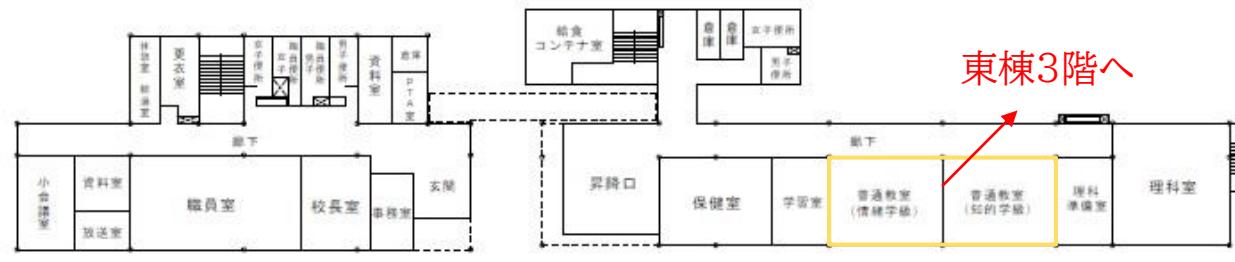
● 居ながら工事の実施状況



3階平面図



2階平面図



1階平面図

西棟 (新校舎)

東棟 (旧校舎)

長寿命化改修工事について

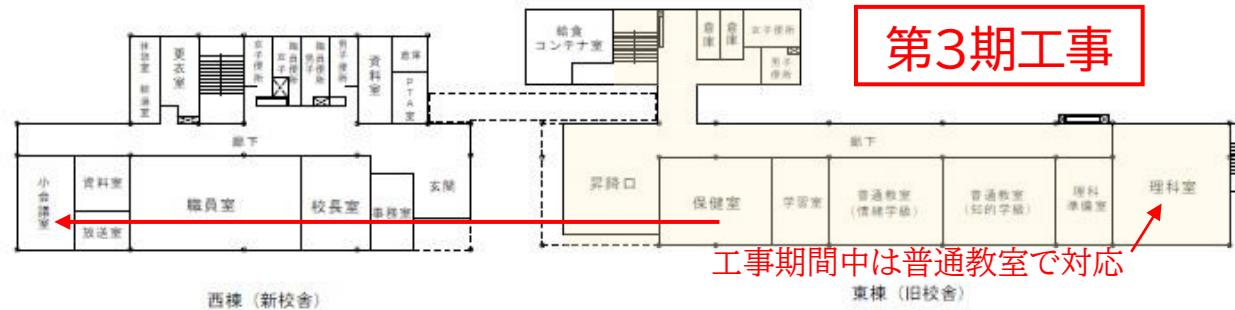
● 居ながら工事の実施状況



3階平面図



2階平面図



1階平面図

長寿命化改修工事について

● 居ながら工事の実施状況

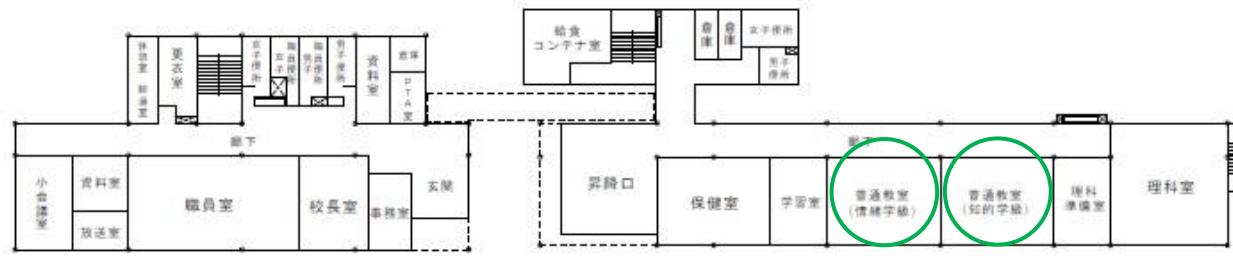
第4期工事



3階平面図



2階平面図



西棟 (新校舎)

1階平面図

長寿命化改修工事について

● 居ながら工事の実施状況

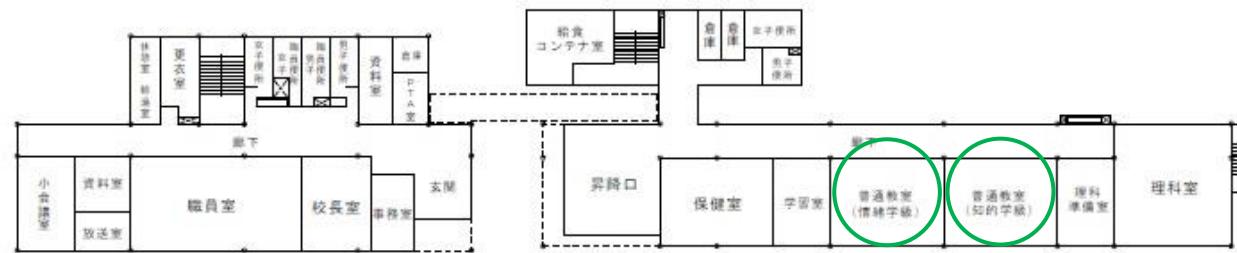


3階平面図

第5期工事



2階平面図



1階平面図

西棟 (新校舎)

東棟 (旧校舎)

長寿命化改修工事について

● 居ながら工事の実施状況

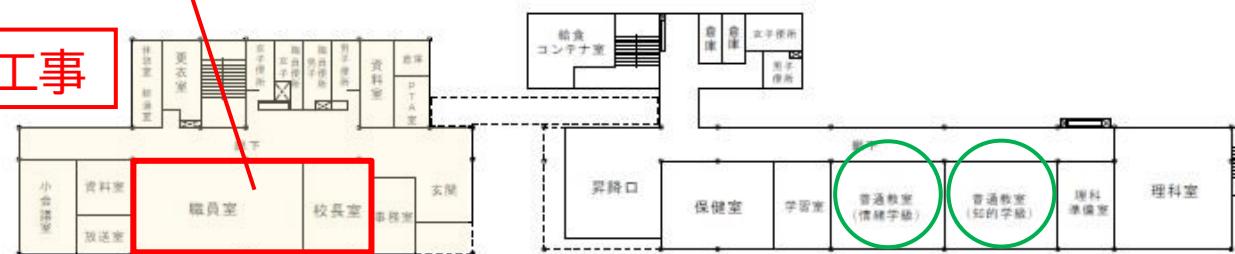


3 誤平面圖



2 路由器

第6期工事



1 階平面圖



課題と対応

03 財源の確保



総事業費 約 1,260,000千円

補助単価と実工事単価の乖離

R5	補助単価	165,000円
	実工事単価	289,000円

差額 124,000円

R6	補助単価	184,400円
	実工事単価	364,000円

差額 179,600円

✓ 単価差の状況

補助対象

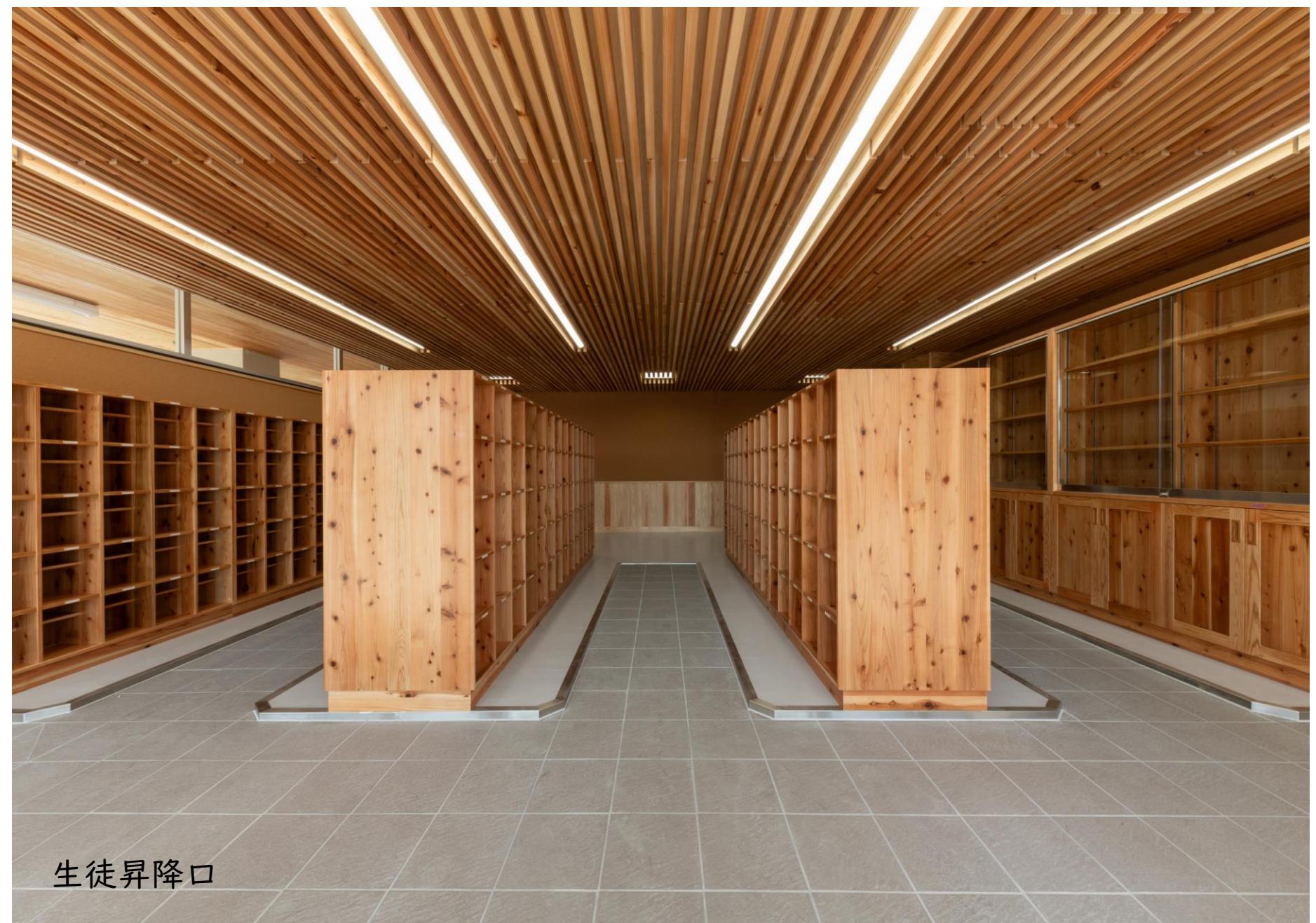
約 600,000千円

単価差分

約 488,000千円



東校舎外観



生徒昇降口



生徒昇降口



生徒昇降口



東校舎 廊下

生徒用トイレ（東校舎）





普通教室



普通教室



生徒用トイレ（西校舎）



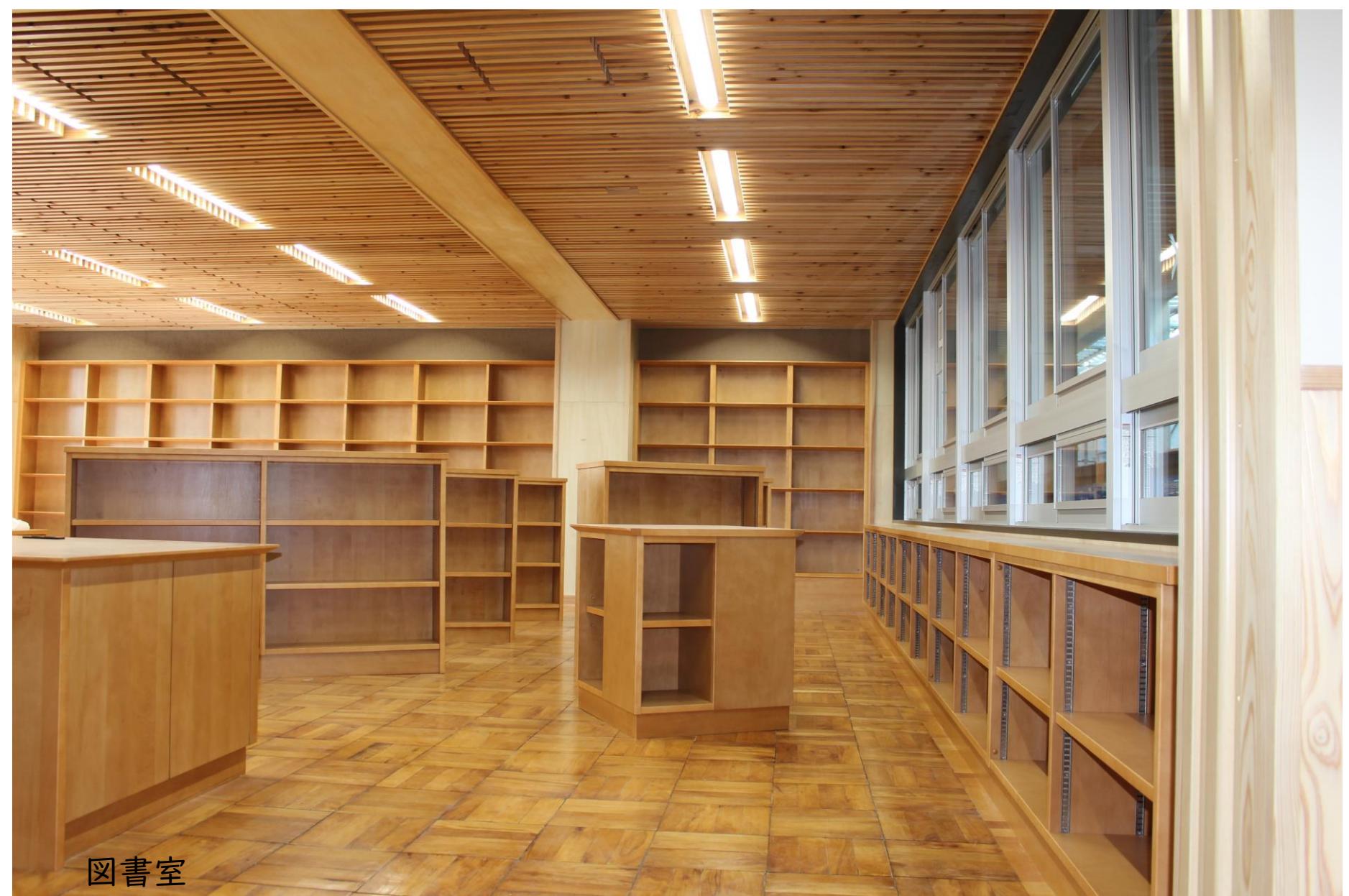
西校舎屋上（太陽光発電設備）



西校舎外觀



職員用トイレ（西校舎）



図書室



図書室（自主学習ブース設置）



図書室（小上がりの畳スペースを整備）



職員玄関



職員玄関から廊下



メモリアルルーム

寄居町教育委員会HP



<https://yorii-boe.jp/39d46df91300d8f8175436b976ec93ec>

完